



明日へつなげる岐阜市の自然

自然ふれあい活動支援ワークショップ

第70号 平成21年4月発行

○はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。

このような状況の中、岐阜市の素晴らしい自然を市民・地域共有の財産として次世代へと引き継ぐため **市民と行政の協働による「自然ふれあい活動」**に取り組みます！！



大洞地域 休耕田湿地にも春が訪れて（4月11日）

- ・春の息吹を感じながら保全活動
- ・里山春の恵みを楽しみました！！

○春の息吹を感じながら保全活動

4月11日（土）に大洞の休耕田湿地の保全活動が行われました。この日は、晴天に恵まれ、約30人の地域住民が参加し、春のひとときを楽しみました。

毎年、大洞の湿地では、様々な花が美しく咲き誇っています。この風景こそが、地域の皆さんが守ろうとしている宝物であることを改めて感じさせられました。

この日の活動では、休耕田湿地に侵入している樹木の伐採と、昨年生えていた枯草の除草活動を行いました。**樹木の伐採活動や枯草の除去作業は、湿地保全活動にとっては非常に重要な活動**です。

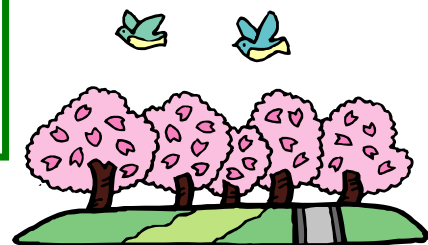
湿地に侵入した樹木や、落葉や枯草の堆積をそのまま放置すれば、湿地は徐々に



大洞の休耕田湿地にも様々な花が春を告げています



保全活動には多くの地域住民が参加してくれました





休耕田に侵入した樹木の伐採を行いました。このような地道な活動が、休耕田湿地の保全のためには重要です。

に陸地化し、いずれは荒地となってしまいます。このような作業は非常に地道で手間のかかるものですが、継続しなければ湿地環境が守ることができません。

また、今回は、水田の畦を修復するために、畦に生えているハルリンドウの移植を行いました。同じような環境を探して、子ども達にも手伝ってもらい、移植作業を進めました。



土手の修復を行うために、生えていたハルリンドウを移植しました。子ども達も大活躍です。

○里山の恵みを楽しみました！！

保全活動の後には、毎年恒例となった、春の恵みが参加者に振舞われました。まわりの里山で採れたコシアブラやタカノツメの天ぷらや山菜ごはんが皆さんの疲れを一気に吹き飛ばしました。この楽しみも、皆さんの地域の誇りに繋がっているのだと思いました。皆さんの心からの笑顔が印象的な一場面です！



コシアブラの芽やワラビなど皆さんの山菜が皆さんを楽しませてくれました。

○おわりに

毎年、この時期の保全活動を見ていると、徐々に人の輪が広がっているのを感じます。人が人を呼び、一緒に保全活動に取り組む。地域の豊かな自然が、人のつながりの場になっている事を実感させられます。

こういう人と人の繋がりこそが、地元の自然を守り伝えていくためには必要不可欠なものだと思います。そこには、**地元の自然を誇りに思う人々の熱い思い**が広がっています。



岐阜市自然ふれあい活動に関する問い合わせ

岐阜市 自然共生部 自然環境課 担当：吉村

TEL：058-265-4141（内線：6451） FAX：058-267-1374

E-mail：shizen@city.gifu.gifu.jp

岐阜市の自然のポータルサイト「ぎふネイチャーネット」

<http://www.gifu-nature.net/>

自然環境課ホームページ：http://www.city.gifu.lg.jp/c/12050000/12050000.html